



ひと、暮らし、みらいのために

厚生労働省

Ministry of Health, Labour and Welfare

Press Release

平成24年7月6日

健康局疾病対策課肝炎対策推進室

(担当・内線) 室長補佐 三好(2943)

(代表電話) 03(5253)1111

(ダイヤルイン) 03(3595)2103

報道関係者各位

第1回日本肝炎デーについて(第1報)

世界保健機関(WHO)は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を“World Hepatitis Day”(世界肝炎デー)と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

一方、我が国では肝炎対策基本法に基づき平成23年5月に制定された肝炎対策基本指針において、日本肝炎デーの設定が定められており、昨年WHOが開始した「世界肝炎デー」と同日である7月28日を本年度から日本肝炎デーと定め、肝炎ウイルス検査の受検勧奨、新たな感染予防のため、全ての国民に対して、予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及啓発及び情報提供を推進いたします。

また、公益財団法人ウイルス肝炎研究財団が従来から実施してきた「肝臓週間」と連携します。

今年のテーマは、「This is hepatitis」、スローガンは、「It's closer than you think」です。

世界肝炎デーについて

1 世界肝炎デーとは

世界保健機関（WHO）は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を“World Hepatitis Day”（世界肝炎デー）と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

2 今年の世界肝炎デーキャンペーンテーマについて

今年のテーマは、「This is hepatitis」、スローガンは、「It's closer than you think」です。

（WHOの関連サイト）

http://www.who.int/mediacentre/events/annual/world_hepatitis_day/en/

3 我が国の取組の現状

我が国では、肝炎対策基本指針（平成23年5月16日策定）に基づき肝炎対策の総合的な推進を図ることとしています。

（1）今後の取組の方針

肝疾患の正しい知識について、国民に十分に浸透していないと考えられます。こうした中で、肝炎ウイルス検査の受検を勧奨し、新たな感染を予防するためには、全ての国民に対して、肝炎の予防、病気や治療に関する正しい理解が進むように普及啓発や情報提供を推進する必要があります。

また、早期に適切な治療を促すため、肝炎患者等が肝炎の病態及び治療に関する正しい知識を持つことができるよう、普及啓発及び情報提供を積極的に行うとともに、肝炎患者等が、不当な差別を受けることなく、社会において安心して暮らせる環境づくりを目指し、肝炎患者等とその家族等、医療従事者、事業主等の関係者を始めとした全ての国民が、肝炎について正しい知識を持つための普及啓発を推進する必要があります。

(2) 今後国が取り組む事項

- 平成22年5月の世界保健機関（WHO）総会において、世界肝炎デーの実施が決議されたことを踏まえ、日本肝炎デーを設定します。あわせて、公益財団法人ウイルス肝炎研究財団が従来から実施してきた「肝臓週間」と連携し、肝炎に関する集中的な普及啓発を行います。
- あらゆる世代の国民が、肝炎に係る正しい知識を持つための普及啓発を行います
- 国民に対し、近年、我が国における感染事例の報告がある急性B型肝炎（ジェノタイプA）は、従来に比し、感染が慢性化することが多いとされていることに鑑み、母子感染や乳幼児期の水平感染に加えて、性行為等により感染する可能性があり、予防策を講じる必要があることについて普及啓発を行います。
- 肝炎患者等への受診勧奨を行うため、医療保険者、医師その他の医療従事者の団体、職域において健康管理に携わる者の団体、事業主団体等の協力を得て、肝炎の病態、知識や肝炎医療に係る制度について普及啓発を行います。
- 肝炎患者等、医師等の医療従事者、職域において健康管理に携わる者、事業主等の関係者が、それぞれにとって必要な情報を取りまとめ、普及啓発を行います。
- 就労を維持しながら適切な肝炎医療を受けることができる環境の整備等について、各事業主団体に対し、協力を要請します。
- 地域の医療機関において、肝炎に係る情報提供が適切になされるよう、肝炎情報センターに対し、情報提供の機能を充実させるよう要請します。
- 拠点病院の肝疾患相談センターを周知するための普及啓発を行います。
- 医療保険者や事業主が肝炎ウイルス検査を実施する場合の検査結果について、プライバシーに配慮した適正な通知と取扱いについて、医療保険者及び事業主に対して改めて周知します。
- 肝炎患者等に対する偏見や差別の実態を把握し、その被害の防止のためのガイドラインを作成するための研究を行い、その成果物を活用し、地方公共団体と連携を図り、普及啓発を行います。

4. 平成24年度の実績

- (1) 平成24年7月18日 肝炎対策啓発プロジェクト「知って肝炎」キックオフミーティング
- (2) 平成24年7月28日 第1回日本肝炎デー（世界肝炎デー）記念「三猿プロジェクト」



報道関係各位

2012年7月6日
「知って肝炎プロジェクト」実行委員会設立準備事務局

肝炎対策普及啓発事業『知って肝炎プロジェクト』キャンペーン・ソングに 持田香織「夜明け」が決定！！

2012年8月1日(水)リリース 3rd Album「manu a manu」収録！

「知って肝炎プロジェクト」実行委員会設立準備事務局は、肝炎対策普及啓発事業(以下、「知って肝炎プロジェクト」)の一環として、持田香織さんの楽曲「夜明け」をキャンペーン・ソングに決定しました。

世界保健機関(WHO)は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染防止の推進を図ることを目的として、7月28日を「世界肝炎デー」と定め、肝炎に関する啓発活動等の実施を提唱しました。

我が国では、「世界肝炎デー」と同日である7月28日を本年度から「日本肝炎デー」と定め、肝炎に関する予防、治療に係る正しい理解が進むよう普及啓発および情報提供が推進されています。

「知って肝炎プロジェクト」実行委員会設立準備事務局では、今後「知って肝炎プロジェクト」実行委員会を立ち上げ、肝炎対策普及啓発活動を推進してまいります。本日7月6日(金)に情報サイトを開設し、普及啓発キャンペーンを始動いたします。さらに、より多くの国民の皆様が肝炎のことを知ってもらいたいという思いを込め、シンボルマークを開発し、キャンペーンに統一感を持たせます。

今回のキャンペーンを実施するにあたり、全世代に支持を受けるアーティスト 持田香織(所属:エイバックス・エンタテインメント株式会社 本社:東京都港区)さんに、命の大切さを、音楽を通して伝える主旨で活動に参画頂くことを賛同頂きました。

その第一弾として、楽曲「夜明け」がキャンペーン・ソングとして決定致しました。「夜明け」は持田さんが本キャンペーンの為に書き下ろした楽曲で、2012年8月1日(水)に発売予定の3rdソロアルバム「manu a manu」に収録される予定です。

これを機に、持田さんには、イベント、ラジオ含め年間を通した啓発活動に参加頂きます。

また、7月18日(水)には、「知って肝炎キックオフミーティング」を開催し、小宮山洋子厚生労働大臣をはじめとして、各界から著名人の方々が多数参加、キックオフにふさわしい数々のプログラムをご用意しております。

この「知って肝炎キックオフミーティング」にも、持田さんの出演が決定しており、肝炎対策の普及啓発を呼び掛けるアンバサダーの1人として実行委員会から「知って肝炎」特別大使の授与が行われ、併せて、楽曲「夜明け」を初披露していただきます。

「知って肝炎プロジェクト」実行委員会の詳細につきましては、決まり次第ご案内申し上げます。

【知って肝炎キックオフミーティングに関するお問い合わせ先】「知って肝炎プロジェクト」広報担当：岩岡・酒井
TEL：03-5510-1144 / FAX：03-5510-1145
E-mail：iwaoka@fiseman.co.jp

【楽曲に関するお問い合わせ】 エイバックス・エンタテインメント株式会社 第1音楽事業本部 宣伝部
TEL：03-5413-8501 / FAX：03-5413-8801

「知って肝炎プロジェクト」実行委員会設立準備事務局(電通内) 戸上・昆
TEL:03-3546-5307 / FAX:03-3546-5716 E-mail:info@kan-en.net

知って、肝炎?
It's closer than you think



【持田香織さん】



【肝炎対策普及啓発事業(「知って肝炎プロジェクト」)について】

目的:肝炎について予防や早期発見、偏見・差別の解消に向けた発信を継続的に行い、肝炎検査の受検者数の拡大を目指す。

ウェブサイト:<http://kan-en.net>

キーメッセージ:

知って、肝炎。 It's closer than you think

シンボルマーク:



日本の普及啓発においては、肝炎をもっと知ってほしい、もっと気にかけてほしい、そんな思いを込め、メッセージとシンボルマークを開発しました。

報道関係各位



公益財団法人 ウイルス肝炎研究財団

日本肝炎デー(世界肝炎デー)事務局

第1回日本肝炎デー 肝炎啓発プロモーションのご案内

第1回日本肝炎デー(世界肝炎デー)記念 「三猿プロジェクト」 Guinness World Record™ に挑戦！ 世界肝炎連盟(WHA)が世界イベントとして提唱し、 日本では、厚生労働省とウイルス肝炎研究財団が共催します。

世界保健機関(WHO)は、2010年に世界的レベルでのウイルス性肝炎のまん延防止と患者・感染者に対する差別・偏見の解消や感染予防の推進を図ることを目的として、7月28日を“World Hepatitis Day”(世界肝炎デー)と決めました。

日本でも、本年から厚生労働省が世界肝炎デーと同じ日を日本肝炎デーに決めました。これに伴い当財団は、5月の肝臓週間を7月28日を含む週の月曜日から日曜日に変更して、世界との連携を強化し、ウイルス肝炎をはじめ肝疾患の啓発活動を推進するべく、7月28日に第1回「日本肝炎デー(世界肝炎デー)」記念イベントを行います。

《Guinness World Recordにチャレンジ》

2012年、世界肝炎連盟(WHA)は「世界肝炎デー」の啓発プロモーションの一環として世界中の人たちとギネスレコードに挑戦します。

今年から始まった「第1回日本肝炎デー」は、WHAと共にギネスレコードの挑戦に参加いたします。
記録のテーマ：

「世界中の様々な会場で、参加者全員が「見ざる、聞かざる、言わざる」という動作を繰り返し実施する」



三猿は世界的にも“Three wise monkeys”として知られ、「見ざる、聞かざる、言わざる」という叢智の3つの秘密を示しているとされています。モチーフ自体は古代エジプトにも見られるもので、シルクロードを経由して中国から伝わったものだという見解があり、また、『論語』に「礼にあらざれば視るなかれ、礼にあらざれば聴くなかれ、礼にあらざれば言くなかれ、礼にあらざれば行くなかれ」という一節があります(wikipediaより抜粋)。

※このポーズは、私たちは、肝炎に対する偏見や差別の風評は「見ません、聞きません、話しません」そして、私たちは肝炎をよく知り、肝炎に向き合って克服をめざします！ということを意味します。

Repetition of the Three Monkeys Actions

“see no evil, hear no evil, speak no evil”



《実施内容》

① 7月28日(土)

1都3県(東京・神奈川・千葉・埼玉)の試合が行われるJリーグ会場で、各地の選手による啓発VTRを流し指導員のもと選手やスタジアムの観客全員を募って、印象的なパフォーマンスを行い、啓発を呼びかけます。

※元日本代表の波戸康広氏が肝炎デーキャンペーンのスペシャルサポーターとなり、各主催クラブ選手協力のもと、webなどでも肝炎啓発メッセージの配信をします。

※日産スタジアムでは、WHAチャールズゴア会長、応援としてモデルの小森純・鈴木奈々なども来場し、記者会見・フォトセッションなどを行います。(予定)



具体的な実施方法:

①試合前の選手ウォーミングアップの前後に「第1回日本肝炎デー～ギネスに挑戦」紹介映像を放映。

②Jリーガーによる三猿ポーズの映像をビジョンに放映しながら音楽に併せて観客の方と、「見ざる」全員が手で目を覆う(5秒)、「聞かざる」全員が手で耳を覆う(5秒)、「言わざる」全員が手で口を覆う(5秒)の動作を3回繰り返します。

《他》

日本各地(主に1都3県)にある、シンボルとなるようなタワーや施設のライトアップを利用し、ビジュアルでのイメージを与えると同時に、肝炎の啓発活動PRにつなげる。各施設を、キャンペーンのイメージカラーである青色のライトアップで照らし、各地で同時に行うことによって話題性を持たせ、肝炎の啓発活動の認知と喚起を促します。



《公式WEBサイト》

近日公開

<本件に関するお問合せ>

日本肝炎デー(世界肝炎デー)事務局 担当:倉持/月岡
TEL:03-5778-7068 FAX:03-5778-7079
MAIL:office@japan-hepatitis-day.org